

令和7年度 第2回(5月)教育委員会定例会 会議録

日 時：令和7年5月28日(水) 15時00分～17時05分

場 所：こども館 多目的ルーム

出席者：教育長 清水 閣成 教育長職務代理者 田中 博美

委 員 千 菊夫・増澤 智代・平野真也

事務局：教育次長 藤澤 勇

書 記：本間 裕子 以上7名

傍聴人：なし

1 開 会

2 教育長あいさつ

お手元に、「長野県宝 有孔罎付土器と釣手土器・浅鉢形土器」のパンフレットをお届けしました。明治大学黒曜石研究センターの堤氏・藤森氏、国立歴史民俗博物館中村氏にお礼状をしたためました。

お礼状の主な内容ですが『パンフレットを手にし、込み上げてくる喜びを抑えながら、写真と文字に見入っていく自分を覚えます。「南箕輪村は文化財をどう大事にしていくんだ」等のご意見を、地域・関係の方からいただいています。しかしながら、予算上のこともありなかなか前に進むことができないで、歯ぎしりをしてきています。このパンフレットは南箕輪村の宝を「分かりやすい解説」・「見応えある写真」として整えられており、“わくわく感”が沸き上がってきます。」というものです。

パンフレットは、縄文土器・時代の魅力を知る上でも、子どもたち・地域の方々の学びにつながる大事な教材と受け止めております。ありがとうございます

ました。教育委員の皆様にもご活用いただくことができましたら幸いです。

南原区の”ふくろなでしこ”がきれいに咲く様子が、TVで放映されました。

5月の定例会です。よろしくお願いいたします。

教育長

○次第では、付議事件を先に位置付けていますが、4報告・確認事項(2)を先に行い、その後付議事件とします。

(2) 教育委員会事業評価委員会について

<会議資料1>

教育長

○昨年度1月の定例会でお伝えしました教育委員会評価委員会が動いていきます。根拠は、前に申し上げましたが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律二十五条五項、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等第二十六条です。

○進め方ですが、次のように考えます。

① 委員会開催回数 年2回開催

② 評価観点・内容

ア 令和7年度評価とする。

・ 評価の実際

a 評価の観点及び評価項目説明(教育長・教育次長・評価委員)

b 6月定例教育委員会において評価委員と合同

7年度概要説明(教育長・教育次長、必要に応じ係長)

<資料案>

・ 令和7年度 南箕輪村の教育方針

・ 教育委員会事務局の所管事務及び主要事業

○教育委員会の組織 ○分掌事務 ○主要事業 ○ハード事業

○ソフト事業 等

イ 中間評価 10または11月 評価委員・教育長・教育次長

・ 定例教育委員会で報告

・ 評価を受けて必要なことを8年度事業・予算に反映

ウ 12月議会前に議会(議会全員協議会)へ報告・HP掲載

エ 令和8年度

- ・6月 7年度評価 評価シート活用
- ・定例教育委員会で7年度評価について報告
- ・議会（議会全員協議会）へ報告・HP
- ・8年度概要説明（教育長 教育次長 必要により係長）

※以降同様に進めていく。

③ 教育委員会評価委員

ア 3名とする

イ 要綱の制定

教育委員

○今年度は変則ということですね。

教育長

○そうです。

教育委員

○特に異議なし。了解（全員）。

3 付議事件

議案第1号 南箕輪村教育委員会事務点検評価委員会設置要綱の制定について

教育次長

○教育委員会評価委員会を「南箕輪村教育委員会事務点検評価委員会」として要綱を制定したい。

※議案資料にて要綱（案）について説明

教育委員

○了解（全員）

教育次長

○要綱を基にして、先ほど確認・了解がなされたように南箕輪村教育委員会事務点検評価委員会を進めてまいります。

4 報告・確認事項

(1) 広島平和学習事業について

教育長

○昨日、広島平和記念式典への自治体申し込みができました。今年は戦後 80 周年、また昨年度ノーベル平和賞を受賞したこともあり、多くの方が記念式典に参列する模様。

教育次長

○小学生（保護者同伴）中学生の参加申し込みは現在のところ小学生 4 名、中学生 1 名。

6 月 10 日（火）が申し込み締め切り。

(3) 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する
了解事項の取り交わしについて <会議資料 2>

教育長

※会議資料にて説明

- ・了解事項について
- ・覚書について

教育委員

○了解（全員）

(4) 児童・生徒数について <会議資料 3>
※会議資料にて報告 4 月 1 日と変更なし

(5) 事故報告 <会議資料 4>
※会議資料にて報告 非公開

(6) 6 月 1 日付庁内人事異動（内示） <会議資料 5>
※辞令交付は 6 月 2 日予定

(7) こども館の今後の構想

教育次長

○こども館の今後の活用についてお願いします。

こども館が、子どもを中心とした居場所となるべく、次のように案として構想しています。

①こども館の放課後児童クラブ（1・2 年生）を南箕輪小学校の理科室を

活用し移動する。校内教育支援センター（ゆりの木教室）は旧給食センター跡地に、今より空間を広げて設置。こども館東側にある公園は今年7月末頃にオープン予定。

②児童クラブの場所を、地域の子どもが雨天時も遊ぶことができるの遊び場・居場所としていく。

若者が集うことができる場、中高校生が学習できる場としてこども館を活用していく。

③土日こども館の開放

④村民センターの社会教育係がこども館に移動。

⑤村民センター社会教育係の移動に伴い、村民センターの活用を検討。

ア 貸館機能をどうしていくか

イ 図書館の拡充

ウ 若者が集うことができる場、中高校生が学習できる場 等

○今後、活用について委員の皆様の考えをいただきたい。

(8) 不登校児童生徒の「指導要録上の出席扱い」のに関するガイドラインについて 〈会議資料6〉

教育長

○学校に行きにくさを覚え、不登校の様態にある子どもたちの状況に応じた「指導要録上の出席扱い」についてのガイドラインを整えます。出席扱いについては、基本方針として、「文部科学省の通知」に則り、オンラインの活用を含め活動内容等、校長の判断（教育委員会と相談）によることを定めていきます。

教育長

○関連し、南原コミュニティーセンターをお借りして開室している「だんだんクラブ」ですが、開室から1年経ちます。利用される子ども・保護者が少ない状況であり、支援員・学校・関係の方と話す中で、「子ども・保護者のニーズにどこまで応じることができているか」が出されています。6・7月を在り方を検討する期間とし、その後閉室を含めどうしていくかを考えたいと思います。また、小中学生・保護者からだんだんクラブ・教育支援センターのあり様について（開室日・開室時間等）、意見・考えをいただくことができればと考えています。

(9) 教育委員から

○「人が生きるために大切なことは？」

「食べることは生きること」と「学ぶことは生きること」を考えるー

- ・人にとって「食べること」と「学ぶこと」はどちらの方がより大切？
を考えている。
- ・その中で、「学ぶことは生きること」岡山県中学2年生（当時）の作文
（内閣総理大臣賞）と出会い、心を打たれた。
- ・「人が生きる上で“栄養”を摂ることが不可欠」と整理すれば、「食べる
こと」と「学ぶこと」はどちらも大切ということになる。
人には口から食べる栄養だけでなく、心の栄養も必要。

心の栄養：本・読書など

いろんなことを学ぶことも心の栄養になる

○人と話すことも学ぶことになる。

教育委員

○本日、地域クラブにかかわる中学校スポーツ・文化活動運営協議会が開かれ、各クラブからいろいろな意見が出されると思う。私のかかわるクラブでは、生徒が楽しんでやっている。少し難しいと思ったのは、子どもの対応でどこまで注意できるのか難しさがあるかな、と思う。学校の先生は子どもの対応はしっかりされているが、保護者による“見守り”の立場だと、自分の子どももいたりして…。大会に出場する機会等で、そのようなことを思った。

○平日の部活動は、わくわくクラブに入らないので、平日だけ部活動をして休日の地域クラブに入らない生徒は、わくわくに入らないということになる。

○部活動の保険は学校として入り、休日の地域クラブはわくわくクラブの保険となる。

○地域クラブがスタートしたところなので、先のことは見えないと思いながらですが、部活に入って休日に違うことをやりたい生徒がいる場合、練習は主に休日に比重をかけて行われるので、コンクールに出る場合等、問題が生じないだろうか。1年生はまだコンクールに出ないので、そのような状況はないが…。

1年生が2年・3年となったときに「Aさんは休日クラブの練習に来ないのに、コンクールに出るんですか!？」という状況が起こりうる。地域

クラブはだれが入ってもいい、選んで入ることができるといわれているが、そのような場合、休日クラブとしてどう対応していけばよいか…。部活との兼ね合いをどう整理するか。

○平日部活と違う休日クラブに入ることには、入りたいところがあったとしても難しさがある。

○来年度から平日部活も地域移行（展開）するところがある。

○私は、部活は存続してほしい願いを持つ。今まで行ってきている部活は子どもにとって大事な場と思う。現状でそのようなことを思う。

○年度を越えた使わないゴミチケットを集めるのですが、教育現場に何かの形で還元されると聞いているが、具体的にどうなっているのか。

○このことは、今年度末で終了する、と聞いている。

教育次長

○調べてお伝えします。

※庁内担当課に確認

年度を越えた「指定ごみ袋購入チケット」は、学校・役場等で回収され上伊那広域連合に届けられます。学校からの申請により「奨励金」が交付されます。例として、小学校で3～4万円が交付されました。学校では、教材等の購入に活用しています

※5月30日に長野市で行われた教育委員の研修会(全員参加)の折に教育委員と共有。

教育委員

○南箕輪中学校の吹奏楽部が伊那市民吹奏楽団の春のコンサートにコラボ（ゲスト）出演した。とても楽しそうであり、大人と一緒に演奏することを通して学ぶことが多かったと思う。

(10) 5月事業報告・6月事業計画について

<会議資料7>

※会議資料にて確認

(11) 6月・7月定例会日程について

6月24日（火）15：00 村民センター小会議室

7月23日（水）15：00 村民センター小会議室

(12) その他

・総合教育会議について

教育長

○協議内容について次回の定例会で考えます。

- ・教育委員研修について

教育長

○研修内容・場所など願いがありましたら、随時お伝えください。

5 その他

(1) 今後の主な予定

- 5月30日 関東甲信越静市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会
長野市
- 5月31日 小学校運動会
- 6月14日 村5団体マレットゴルフ大会 14:00から 大芝高原
- 7月2日 上伊那市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会
13:10 箕輪町
- 7月5日 社会を明るくする運動青少年健全育成北部地区大会
- 7月15日 南信教育事務所主幹指導主事学校訪問 ※日程後日
午前：南箕輪小学校・南箕輪中学校 午後：南部小学校
- 8月27日 新任教育委員研修

6 閉会